

平成30年度ダイオキシン類調査結果について

島根県環境生活部廃棄物対策課

I. 環境中のダイオキシン類常時監視結果

ダイオキシン類対策特別措置法(以下、「ダイオキシン特措法」という。)第26条第1項に基づき、平成30年度に島根県が実施した大気、公共用水域の水質・底質、地下水及び土壌のダイオキシン類常時監視結果の概要は次のとおりです。

環境中のダイオキシン類常時監視結果

調査期間：平成30年6月～平成31年2月

	調査対象	区分	測定地点	単位	測定結果				
					環境基準 超過地点数	最小値	最大値	平均値	環境 基準値
一般 環境 監視	大気	—	6	pg-TEQ/m ³	0	0.0039	0.016	0.0066	0.6
	水質	河川	3	pg-TEQ/L	0	0.073	0.097	0.086	1
	底質	河川	3	pg-TEQ/g	0	0.18	1.4	0.62	150
	地下水	—	5	pg-TEQ/L	0	0.060	0.068	0.062	1
	土壌	—	4	pg-TEQ/g	0	0.0018	0.46	0.12	1,000

注：最小値、最大値、平均値は、各地点の年間平均値の最小値、最大値、平均値である。

大気（6地点4回）、水質（3地点）、底質（3地点）、地下水（5地点）、土壌（4地点）ともに全ての地点において環境基準を満足していました。

II. 特定施設のダイオキシン類調査結果

1. 設置者による測定結果の概要

ダイオキシン特措法第28条第1項及び第2項に基づき、設置者が規制対象施設において平成30年度中（平成31年度以前に測定し平成31年度に報告のあったものを含む）に測定を実施した結果の概要は次のとおりです。

(1) 排出ガス中のダイオキシン類の測定結果について

測定対象施設（新設及び休止中施設を除く）は51施設で、そのうち49施設から報告があり、全ての施設において排出基準以内であることを確認しました。

濃度単位：ng-TEQ/m³N

大気基準適用施設の種類		測定対象 施設数	報告済 施設数	未報 告施 設数	平均値	濃度範囲	排出基準		
							既設	新設	
製鋼用電気炉		4	4	0	0.000063	0.0000020～0.00019	5	0.5	
廃 棄 物 焼 却 炉	焼 却 能 力	4t/時 以上	3	3	0	0.0052	0.000019～0.019	1	0.1
		2t～4t/時 未満	2	2	0	0.000014	0.0000022～0.000025	5	1
		50kg/時～2t/時未満 (50kg/時未満で火 床面積 0.5 m ² 以上の ものを含む)	35	33	2	1.9	0.0000015～9.1	10	5
合 計		51	49	2	—	—	—		

(2) 排出水中のダイオキシン類の測定結果について

測定対象施設（休止及び工事中等の施設を除く）は1施設あり、排出基準を下回っていました。

濃度単位：pg-TEQ/L

水質基準対象施設の種類の種類	測定対象施設数	報告済施設数	未報告施設数	平均値	濃度範囲	排出基準
クラフトパルプ等製造施設	1	1	0	—	0.0076	10
合計	1	1	0	—	—	—

(3) 廃棄物焼却炉に係るばいじん等のダイオキシン類測定結果について

ばいじん、焼却灰その他の燃え殻については、排出基準はありませんが測定が義務づけられています。

なお、埋立等の処分をする際には、3 ng-TEQ/g 以下となるよう基準が定められており、報告において3 ng-TEQ/g を超えたばいじん等については、処分時に法で定められた薬剤処理による適正な処理等が行われていることを確認しています。

濃度単位：ng-TEQ/g

施設の種類の種類		報告施設数	濃度範囲
廃棄物焼却炉	ばいじん	21	0.0~1.7
	燃え殻	29	0.0~0.16

注：測定値には処理前の数値を含む。

2. 行政測定結果の概要

特定施設である大気基準適用施設（廃棄物焼却炉）について、立入検査にもなって実施した行政測定の結果は、調査した3施設とも排出基準を下回っていました。

	行政検査施設数	基準超過	基準超過事業所への措置
大気基準適用施設	3	0	—

【資料】

表1 平成30年度ダイオキシン類常時監視結果（大気）

No.	調査区分	地点名	所在地	調査結果 (pg-TEQ/m ³)					環境基準値 (pg-TEQ/m ³)
				夏期	秋期	冬期	春期	年平均値	
1	一般環境監視	安来一般環境大気測定局	安来市安来町八幡582-1	0.0067	0.0046	0.0050	0.0062	0.0056	0.6
2		出雲保健所一般環境大気測定局	出雲市塩治町223-1	0.0098	0.010	0.016	0.011	0.012	
3		江津市役所一般環境大気測定局	江津市江津町1525	0.0063	0.0041	0.0049	0.0073	0.0057	
4		浜田合庁一般環境大気測定局	浜田市片庭町254	0.0060	0.0044	0.0056	0.0071	0.0058	
5		益田合庁一般環境大気測定局	益田市昭和町13-1	0.0050	0.0044	0.0043	0.0062	0.0050	
6		大田一般環境大気測定局	大田市大田町大田若宮イ497-6	0.0061	0.0039	0.0044	0.0090	0.0059	

表2 平成30年度ダイオキシン類常時監視結果（公用水域の水質及び底質）

No.	調査区分	水系名	水域名	地点名	採取月日	水質調査結果 (pg-TEQ/L)	環境基準値 (pg-TEQ/L)	底質調査結果 (pg-TEQ/g)	環境基準値 (pg-TEQ/g)
1	一般環境監視	神戸川	神戸川	神戸川河口	H30.9.19	0.089	1	1.4	150
2		静岡川	静岡川	正原橋	H30.9.7	0.097		0.27	
3		津和野川	津和野川	枕瀬	H30.9.7	0.073		0.18	

注1) 水質と底質には密接な関係があると予想されることから、両媒体を同地点で測定する

表3 平成30年度ダイオキシン類常時監視結果（地下水）

No.	調査区分	市町村名	地点	採取月日	水質調査結果 (pg-TEQ/L)	環境基準値 (pg-TEQ/L)
1	一般環境監視	安来市	野方町	H30.10.30	0.068	1
2		出雲市	所原町	H30.10.30	0.060	
3		邑智郡邑南町	日貫	H30.10.29	0.062	
4		浜田市	金城町波佐	H30.10.31	0.060	
5		鹿足郡津和野町	中曽野	H30.10.31	0.060	

表4 平成30年度ダイオキシン類常時監視結果（土壌）

No.	調査区分	市町村名	地点名	採取月日	調査結果 (pg-TEQ/g)	環境基準値 (pg-TEQ/g)
1	一般環境監視	隠岐郡隠岐の島町	隠岐の島町立北小学校グラウンド	H30.10.24	0.0086	1,000
2		隠岐郡海士町	海士町立福井小学校	H30.10.25	0.0087	
3		隠岐郡西ノ島町	旧黒木小学校	H30.10.25	0.0018	
4		隠岐郡知夫村	郡保育所グラウンド	H30.10.26	0.46	

表5 未報告事業所の状況（排出ガス及びばいじん等とも未報告の事業所）

(1) 大気基準適用施設

No.	事業所名	特定施設の種別	特定施設所在地	備考
1	吉浦牧場	廃棄物焼却炉	大田市	測定を指導中
2	みつわ工業（有）中間処理場	廃棄物焼却炉	益田市	測定を指導中

(2) 水質基準対象施設

未報告事業者なし

表6 行政検査におけるダイオキシン類排出量調査結果

(1) 大気基準適用施設

No.	事業所名	特定施設名	特定施設所在地	焼却能力 (kg/h)	採取年月日	排出ガス	
						測定結果 (ng-TEQ/m ³ N)	排出基準 (ng-TEQ/m ³ N)
1	出雲エネルギーセンター	廃棄物焼却炉	出雲市	4,542	H31.1.17	0.0016	0.1
2	株式会社ツチヨシ産業 邑南工場	廃棄物焼却炉	邑南町	5,000	H30.11.16	0.019	0.1
3	益田地区広域クリーンセンター	廃棄物焼却炉	益田市	1,292	H30.10.25	0.000010	5

(2) 水質基準対象施設

該当なし

(参考)

大気排出基準

単位：ng-TEQ/m³N

施設の種別	新設施設の基準	既存施設の基準 (H14.12.1～)
製鋼用電気炉	0.5	5
廃棄物焼却炉 (焼却能力)	4t/時以上	1
	2t/時以上4t/時未満	5
	50kg/時以上2t/時未満	10

水質排出基準

単位：pg-TEQ/L

施設の種別	新設施設の基準	既存施設の基準 (H15.1.15～)
クラフトパルプ等製造施設	10	10
廃棄物焼却炉排ガス洗浄装置等		
下水道終末処理施設		